2020 AUTOBACS SUPER GT Report

FUJIMAKI GROUP MOTEGI GT 300km RACE

第7戦 ツインリンクもてぎ

ZENT GR Supra

#38 立川祐路/石浦宏明

◆11 月 8 日 (日) RACE 決勝結果 10 位

公式予選ではライバル勢の前に 6 番手に終わったものの、決勝レースに向けて ZENT GR Supra のフィーリングにたしかな手ごたえを得ていた TGR TEAM ZENT CERUMO。一夜明け、迎えた 11月8日(日)の決勝日のツインリンクもてぎは晴天に恵まれ、朝からドライブス



ルーピットウォークなど新たな試みも行われるなか、20 分間のウォームアップ を経て、午後 1 時からの決勝レースのときを迎えた。

15,600 人ものファンがスタンドを埋めるなか、ZENT GR Supra のスタートドライバーを務めたのは立川祐路。スタート後、立川は 6 番手のポジションを守ると、 1 周目の 90 度コーナーで前をいく#19 GR Supra のインをうかがう。



10 周目を迎えるころになると、トップを走る #64 NSX-GT のペースが少しずつ鈍っていくが、一方で立川の後方にはハイペースで#17 NSX-GT が接近してきた。第4戦もてぎでもトップを争った因縁の相手ではあるが、立川は GT300 車両をうまく使いながら、絶妙なラインどりで#17 NSX-GT

につけいるスキを与えない。逆に、前の#19 GR Supra とのギャップが縮まりはじめ、立川を含む 6 台の 5 番手争いがサーキットを沸かせはじめた。







T-SELECT





















そんな接近戦のなかでこそ光るのが立川の技だ。17 周目、立川は#19 GR Supraの一瞬のスキを突き、最終ビクトリーコーナーでオーバーテイク。すると、今度は少しずつペースがにぶりはじめていた 4 番手の#23 GT-R を 18 周目の 1 コーナーで一気にオーバーテイク。コクピットの立川はやや

タイヤの厳しさを感じてはいたものの、それを感じさせないバトル巧者ぶりをみせ、一気に ZENT GR Supra を 3 番手に押し上げてみせた。

とはいえ、今回 GT500 クラスの争いは上位から下位まで僅差。こうなるとピットインのタイミングが勝負の鍵を握ってくる。ピットでは石浦宏明がスタンバイを整え、レース展開をみながらいつピットインさせるのかをうかがっていた。

しかしそんな最中、22 周目に GT300 クラスの#5 86 MC が V 字コーナーでトラブルが起きたか、ストップしてしまう。セーフティカーが出るかもしれないが、とはいえ ZENT GR Supra の燃費を考えると、このタイミングで立川をピットに呼び戻すことはできない。そうしているうちに、24 周目には車両回収のためセーフティカーが導入されることになった。

ZENT GR Supra はコース上にステイし、最も"損"がないセーフティカー明けにピットインを行うことを決断する。トップ 2 はすでにピットインしており、タイムの面でも"得"をしているのは明らかだったが、それでも表彰台争いは十分に可能。29 周目のリスタートとともに、立川は ZENT GR Supra をピットに向けた。



同じタイミングで5台もの GT500 車両がピットインを行っていたが、ここで























思わぬ事態が起きる。ドライバー交代を終え、ZENT GR Supra のコクピットに石浦が収まっていたものの、ホイールのトラブルによりタイヤ交換が遅れてしまったのだ。石浦の横を何台ものマシンが通過していく。第6戦鈴鹿と同じ光景が展開されてしまったのだ。

なんとか作業を終え、石浦はコースに復帰するものの、後からピットインした車両たちがコースに戻ると、ZENT GR Supra の順位は 11 番手。序盤の立川の頑張りは水泡に帰してしまった。しかも、このツインリンクもてぎは抜きにくいコース。少しでもポジションを上げ、チャンピオン争いに踏みとどまろうと石浦は懸命にドライブを続けるが、上位陣と異なり、中盤のバトルからはそう簡単に抜け出せない。

石浦の 2 台前を走っていた#3 GT-R が 45 周目にストップしたこともあり、 ZENT GR Supra は 10 番手にポジションを上げ、さらに 54 周目には#19 GR Supra をオーバーテイク。これで 9 番手に浮上した。ただ、そこから先は望めず、さらに後方からはペースに優った#12 GT-R が接近。ファイナルラップに先行を許し、最終的に ZENT GR Supra は 10 位でチェッカーを受けることになった。

第6戦鈴鹿でも表彰台を逃し、今回はさらにひどい結果となってしまった。 チャンピオン争いも絶望的で、立川と石浦はレース後、怒りにも近い落胆の表情を浮かべることになった。この悔しさを晴らすためにも、最終戦富士を必ず勝って終えたい。TGR TEAM ZENT CERUMO は、しっかりと反省し最終戦に臨む。

ドライバー/立川祐路

「序盤は決して楽なレースではありませんでしたが、 なんとかポジションを上げようと戦ってきました。 ただ、ピットインのときのロスですべて終わってし まいました。前戦の鈴鹿に続いて2戦連続で同じま



スをしてしまったので、正直、これはダメだと思っています。こんなことをやっていては成績を残せるわけもなく、チームとして立て直しをきちんと図り、

























最終戦の富士をせめて優勝で終われるよう、頑張りたいと思っています|

ドライバー/石浦宏明

「レース前半の立川選手のスティントを観ていて も、ライバルに対してペースが厳しい状況なのは分 かっていましたが、そのなかで順位を上げてきてく れていたので、これ以上期待しようがないくらいの



最高な前半スティントだったと思います。なんとか表彰台で終われるよう、自 分もしっかりベストを尽くそうと思っていました。ピットタイミングも勝負の 大事なポイントになるだろうと思っていましたが、セーフティカーが出たこと で、上位 2 台は得をしたにしろ、普通にコースインできれば表彰台争いができ ると思っていました。ただ、トラブルでタイヤ交換が遅れてしまい、大きくタ イムロスしてしまいました。自分の横をたくさんのマシンが通過していきまし たし、その後ピットインしたマシンもいるので、実質最後尾に近いところでコ ースに戻ったようなイメージです。自分としては、もう1点でも多くポイント を獲るしかないと頑張って走りました。終わってみれば1ポイントということ で、チャンピオン争いを考えると、この2戦で失ったポイントは取り返しがつ かない大きなもので、失ったものがなければタイトル争いもできていたと思い ます。チームとして何をどう反省していくのか、しっかりやってもらわなけれ ばと思っています。今週末、GR Supra 勢のなかでも速さはあったと思います。 そういうレースで結果を残せなかったということは、チームとしてファンの皆 さんにも、応援して下さるスポンサーの皆さんにも申し訳ないと思います。自 分たちとしては、あとはできる限りのことをやっていくしかないので、最終戦 も全力で頑張りたいと思います|

村田淳一監督

「今回はピットイン時にホイールのトラブルが発生してしまい、結果的に大きく順位を落とすことになってしまいました。前戦の鈴鹿でも少し出ていた症状だったので、その対策をしていたのですが、対策が甘く再発してしまいました。 ゴーサインを出したのは自分なので、監督の責任です。レースを台無しにしてしまい、申し訳ない気持ちでいっぱいです。ドライバーはふたりとも素晴らしいレースをしてくれて、順位を上げてきてくれたのでなおさらですね。最終戦

























ではミラクルが起きなければチャンピオンは獲れない状況になってしまったの で、悔しいし、情けない気持ちです。ホイールについては全数を交換するしか ないと思っていますし、すでに準備を進めていますが、最終戦のノーウエイト の戦いのなかで、我々が優勝しなければ気持ち良くシーズンを終われないです し、我々のためにも、GR Supra のためにも優勝を目指して頑張りたいと思いま す。」































決勝結果表

| Rank | Car No. | CarName | Laps | BestLapTime |
|------|---------|--------------------------------|------|-------------|
| 1 | 8 | ARTA NSX-GT | 63 | 1'40.055 |
| 2 | 64 | Modulo NSX-GT | 63 | 1'38.628 |
| 3 | 100 | RAYBRIG NSX-GT | 63 | 1'40.123 |
| 4 | 16 | MOTUL MUGEN NSX GT | 63 | 1'40.975 |
| 5 | 17 | KEIHIN NSX-GT | 63 | 1'40.534 |
| 6 | 37 | KeePer TOM'S GR Supra | 63 | 1'41.011 |
| 7 | 23 | MOTUL AUTECH GT-R | 63 | 1'40.299 |
| 8 | 39 | DENSO KOBELCO SARD GR Supra | 63 | 1'40.929 |
| 9 | 12 | CALSONIC IMPUL GT-R | 63 | 1'40.801 |
| 10 | 38 | ZENT GR Supra | 63 | 1'40.482 |
| 11 | 19 | WedsSport ADVAN GR Supra | 63 | 1'40.394 |
| 12 | 14 | WAKO'S 4CR GR Supra | 63 | 1'40.836 |
| 13 | 36 | au TOM'S GR Supra | 62 | 1'40.516 |
| 14 | 24 | REALIZE CORPORATION ADVAN GT-R | 58 | 1'41.244 |
| 15 | 3 | CRAFTSPORTS MOTUL GT-R | 45 | 1'40.776 |

























